

令和元年度青森市社会資本整備評価委員会 会議概要

1. 開催日時

令和元年10月28日(月) 10:00~10:15

2. 開催場所

青森市役所柳川庁舎 1階 会議室

3. 出席者

《委員》

委員長 足達 健夫
副委員長 松野 美智子
委員 松田 英嗣、三浦 一郎 計4名

《事務局》

都市整備部 部長 大櫛 寛之、理事 長井 道隆、次長 高村 功輝
都市整備部都市政策課 課長 坂牛 裕、外2名

《案件担当課》

都市整備部道路建設課 課長 小笠原 秀輝、副参事 嶋守 亮、外1名

4. 審議案件

《公共事業再評価》

- ・案件第1号「くらしの道道路整備事業(石江沖館2号線)」

5. 案件資料

- ・公共事業再評価調書
- ・説明資料

6. 会議概要

公共事業再評価について案件第1号の審議を行ったが、市の評価結果に対し異論はなかった。
以下、主な意見、質疑応答の内容。

発言者	内容
委員	側溝は、いつ頃整備される予定なのか。
道路建設課	今年度も一部整備を行っているところであり、来年度以降も順次整備を進めていきたいと考えている。
委員	横断面図のとおり、有効幅員が0.7メートル広がるということによいか。
道路建設課	有効幅員としては0.7メートル広がる。
委員	整備によって元の側溝の段差が解消され、その分、車が通る空間が広がるということか。
道路建設課	側溝のところには歩車道ブロックが入り、歩行者空間として整備することを予定している。
委員	用地取得を行っているが、現在の道路区域内で完結しているものではないのか。
道路建設課	整備区間中に、幅員が3メートルほどしかなくボトルネックとなっているところが2箇所あり、平成28年度に用地取得している。
委員	買収した箇所についても、幅員は断面図と同じ（5メートル）くらいになるのか。
道路建設課	買収後は、そのくらいになっている。
委員	700メートルの道路整備に5年以上を要するのは、長く感じるが、用地取得又は予算措置上、何かあるのか。
道路建設課 (事務局)	当該事業については、現在の道路を利用していただきながら工事を行っているため、新たに道路を整備するものとは状況が異なることや、電柱の移設等は電力や電話等の事業者との調整も必要になることから、ある程度時間を要するものと考えている。 また、予算面について市としては、整備に必要となる予算を確保しつつ、令和5年度までには整備を終えたいと考えている。